

# 「沖縄市産業まつり」で周知活動を行いました

塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会では、2018年1月27日（土）・28日（日）の両日、沖縄県沖縄市の沖縄県総合運動公園で開催された「第41回 沖縄市産業まつり2018」（主催：沖縄市産業まつり実行委員会）にて、周知活動を行いました。

このイベントは、毎年、農産物や海産物、工芸品、琉球 楽器、焼物、泡盛など、さまざまな沖縄の産品が出品されるイベントで、今回で第41回目になります。

沖縄市の泡瀬地区には、以前は塩田がありました。沖縄塩元売株式会社（全国塩元売協会会員）の前身である「沖縄製塩株式会社」は、1946年に設立され、翌年から、塩田と平釜による塩づくりを行っていました。

現在は、沖縄塩元売株式会社の事務所是那覇市にありますが、沖縄市に縁のある企業として、同社は、毎年このイベントに出展しています。

そして、今回は、同社のブースにおいて、塩と暮らしを結ぶ運動の周知も行いました。

ブース前には幼児用プールを設置し、50kgの塩を入れ、子どもたちに塩遊びを楽しんでもらいました。

プラスチックの型に塩を入れて魚や電車の型をつくるなど、子どもたちは大喜びでした。中には1時間近くも遊んでいた子どももいました。

そして、子どもたちの保護者など大人の方には、塩と暮らしを結ぶ運動のリーフレットやマグネット、クリアファイルをお配りしました。

会場では、様々な産品が出展されたほか、民謡ライブ、エイサー演奏、またヒーローショーなども行われ、大変な賑わいでした。2日間の来場者は約2万名だったとのことでした。

そんな賑わいの中、子どもたちには塩に触れて楽しんでいただくとともに、保護者など約500名の大人の方に、塩と暮らしの関わりや、この運動について、お伝えすることができました。

